

事務事業名		戸室地区排水路整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	青木 茂良
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11276	一般	8	3	1	戸室地区排水路整備事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H24年度～H26年度		根拠法令 条例等	佐野市公共物管理条例、 地方分権一括法					
	実施方法				実施方法		直営				
	事業分類				事業分類		施設等整備事業				
リーディングプロジェクト				リーディングプロジェクト		該当なし					
市長マニフェスト				市長マニフェスト		該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
・栃木県により、県道と周辺地域の雨水による冠水被害を低減するために排水路整備が実施される。市は県との負担協議により、戸室地区の雨水を排水するため、応分の負担をすることにより必要な排水路を整備する。 排水路整備延長 L=444m 全体事業費 200,000千円 (市の負担金60,000千円)	・ボックスカルバート布設工事(1500×1500 L=134m)に伴う負担金						
負担割合 県:佐野市=7:3	活動指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
	水路を整備した延長	m	310	134			
	整備済の水路延長	m	310	444			

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・戸室地区の雨水を旗川に放流するための水路	対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
	排水路計画延長	m	444	444			

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・雨水排水路を整備して内水を速やかに河川に排水することにより、田沼市街地の冠水を低減する。	成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
	対象水路の整備率	%	69.8	100.0			

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

・住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。	上位成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
	雨水幹線の整備延長	m	15,532	15,802			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		50,000	5,680							
	事業費計(A)	千円		50,000	5,680	0	0	0	0	0	0	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			19負担金、補助及び交付金	50,000	19負担金、補助及び交付金	5,680						
	人件	正規職員従事人数	人	2		2						
のべ業務時間	時間		499		499							
人件費計(B)	千円		1,942		1,967		0		0		0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		51,942		7,647		0		0		0	

事務事業名	戸室地区排水路整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・H24年2月の県議会において議員より一般質問があり、県土整備部長が新年度に一部工事に着手する旨の回答をした。これを受けて、安足土木事務所より協議があり、負担協定が締結できることとなったため事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・最近の天候不順により道路冠水が頻発しており、市街地の冠水対策が急がれている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・田沼市街地を通る一般県道作原田沼線・佐野田沼線が、豪雨のたびに上町交差点付近において冠水し、市民に多大な不便をかけている。以前より市民から冠水被害解消の強い要望が出ていたが、なかなか実施には至らず、市議会でもたびたび質問が出ていた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・この事業の目的は市街地への雨水の流入を低減するものであり、これにより冠水被害の無い、住みやすい快適なまちづくりが達成できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・自然現象である雨水を市街地より排除し、冠水や浸水のない住みやすい快適なまちづくりをすることは行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・市街地が冠水する原因の一つである、上流からの雨水の流入を阻止することにより、すみやすい快適なまちづくりを推進する。戸室地区の水路を整備し旗川に放流することにより、市街地への雨水の流入を低減できる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	・戸室地区から作原-田沼線を通して市街地に流入する雨水を途中で旗川に放水するもので、十分な成果が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・県や地元住民との連絡・調整にかかる最小限度の人件費を計上したもので、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	・雨は自然現象であり、これによる災害を防止することは行政の責務であり、受益者負担を求める必要は無い。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	・計画された水路を100%完成したとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		×																	
	低下	×	×																	